

令和7年度 神之木地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価

— 総括表 —

◆ 事業計画

□ 地域の現状

【神之木西寺尾地区】 人口:17988人 高齢化率:21.64%
第4期地域福祉保健計画のスローガン: 支え合う「向こう三軒両隣」のまち 神之木西寺尾
地域の高齢化率の高い地域・低い地域は 西寺尾2丁目:26.32% 西寺尾1丁目:18.09%である。
住宅街で教育機関や多世帯が交流できる大きな公園などがあります。様々な活動があり、「防災訓練や防災拠点活動」
「高齢者のおたのしみ会」「すくすくかめっこ」などを行っています。又、地区センターがあり、サークル活動などが行われている。

【松見地区】 人口:11725人 高齢化率:23.369%
第4期地域福祉保健計画のスローガン: 笑顔であいさつ松見町 住んでよかった松見町
地域の高齢化率の高い地域・低い地域は 松見一丁目:27.50% 松見二丁目:19.16%である。
地域に3大行事(盆踊り・福祉演芸大会・ふるさとまつり)があり、地域交流が盛んであります。又、食事会やサロン、お楽しみ会、趣味サークル、かめっこ等の活動も積極的に行っている。又、消防出張所との連携により、防災訓練や防災講習などを実施している。

【大口・七島地区】 人口:14766人 高齢化率:24.83%
第4期地域福祉保健計画のスローガン: みんなで助け合う町 大口七島
地域の高齢化率の高い地域・低い地域は 西大口:26.98% 大口仲:23.16%である。
連合町内会組織を中心に住民活動が活発です。それぞれの単町でのお祭りや防災訓練なども行えています。行事も「地域交流まつり」「盆どり」など行い、地区社協として「絆プロジェクト」として新たな見守り活動の創出をして、地域連携が図れる。

□ 今後の方向性

【神之木西寺尾地区】・【松見地区】・【大口・七島地区】とそれぞれの地区の特徴は違うが、「活動の維持」「活動の担い手」「防災意識」に関しては、それぞれ課題になっている。それぞれに課題は若干違うが、新たな取り組み(ICT・見守り方法)や活動の維持(活動場所や活動内容)の方法などに関してはケアプラザとして、住民と共に活動していくことが必要である。又、地域の後期高齢者の増加に伴う介護保険サービスの需要の増加に対してもインフォーマルサービスや地域とのネットワークの構築が求められる。そして、ケアプラザとして高齢者の方々が安心、安全に地域で生活できることを念頭に置き活動を行ってきます。

□ 今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —	
□	■	1-2 地域アセスメント	
		相談月報の各地区別ごとのものを民児協や町会長会議で提示することにより、共有を行う。区とも定期的にカンファで共有を行う	
□	■	1-4 社会資源の開拓・開発・支援	
		現在、ケアプラザと関係している機関や関連機関への認知症サポーター養成講座の打診などを行っている。	
■	□	1-7 職員体制・育成	
		朝のミーティングの際に司会者が一方的に進行するのではなく、引継ぎ事項以外のことで話せる環境を作り、コミュニケーションが取りやすい環境をつくる。又、包括、居宅、通所とも適時、会議を持つことにより地域課題に取り組めるようにする。	
□	■	1-8 区行政との協働	
		新たな計画をスタートにあたり、ケアプラザとして第五期計画の中での役割を包括で検討し地域住民と共に行動して	
□	■	2-6 地域ケア会議	
		民生委員との交流会を実施した上で、ケアマネジャーが持っているケースの共有・意見交換会の開催が望ましいケースについて包括内で検討し実施する。ケア会議につないだ方が良いケースについては区と相談する。	

◆ 事業報告・事業実績評価

□ 振り返り

【各項目の振り返り】

【1－2】相談月報の地区別情報を各町会や民児協で報告することにより、町会長より質疑が出るなどして課題の共有ができた。ただ、町会としてももう少し細かな情報が欲しい要望があった。1丁目、2丁目単位の質問があったが、そこまでは相談月報からの分析はできなかった。

【1－4】ケアプラザとの関係がある清掃業者や自治会などに周知を行ったが、そこでの連携は出来ていないが、近隣のコンビニなどから要請講座の要請があった所とは新たな関係性が構築できた。

【1－7】所長が主にミーティングの司会者を務めたが、情報共有の場としての有意義であったが、コミュニケーションとしての場とまでは至っていない。居宅・通所との毎月の会議の実施は出来なかったが、居宅・通所・包括間では、職員間で適時、課題の共有が行われていた。

【1－8】第5期のスタートの前に包括内での共有ができていない。地域福祉計画の区と社協との会議に包括職員が参加出来ていないのも今後の課題である。今後、3つの地区の計画を包括内で周知を行い、地域福祉計画のバックアップを行う。

【2－6】民生委員との交流会を計画していたが、適切なケースが見つかり、区とも相談し地域ケア会議を実施することができた。

【全体を通して】

各項目に関して、「全く出来なかった」ということはなかった。ただ、それぞれの項目において、「実施出来なかった課題」と「新たな課題」というものが見えてきている。「実施出来なかった課題」に関しては、ケアプラザの職員体制を理由として具体的な理由もあれば、ケアプラザの組織としての連携などの職員意識の課題もあった。地域からの相談件数は昨年度と比較しても増加している点から、地域のケアプラザへの認知は上がってきていることや「困ったことはケアプラザに相談する」という認識は上昇していると言えるのではないと思う。それにあたり、地域からの要望に対して、スムーズな対応が必要となり、より一層のケアプラザ内の連携（ICT化など）が求められてくると思う。

法人が変更するということに関しても地域の方々より不安視されている現状からも、新たな神之木地域ケアプラザとして「変わらない部分」と「良い変化」を提示することが求められてくることから、より一層に一つ一つを丁寧に実施することを心がける必要がある。

□ 区からのコメント

地域ケアプラザは所長、生活支援コーディネーター、地域交流コーディネーター及び包括3職種そして通所事業スタッフという多職種で運営される施設であり、複合的かつ専門的業務をそれぞれの強みを生かしてサービスや適切な場所につないでいくことが期待されています。今年は複数の職員が不在となる期間が続き、事業も計画通りにいかなかった1年だったかと思います。同時に指定管理者の交代に向け、通常以外の業務も発生し、普段に増して大変な年でした。そんな中、質的・量的に増加する複雑な相談ケース等、精一杯対応していただいたかと思われます。未達成となった点もあるかと思いますが、できた点に着目し、改善の手立てとしていただきたいと思います。うまく繋げることができた背景や仕組みには、職員の方の働きが欠かせないものです。職員間でのコミュニケーションや組織的な業務遂行のチェック機能を充実させ、これからも地域にとって欠かせない相談の場として認知されていくことを期待しております。

令和7年度「横浜市神之木地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜（参考）地域活動交流＞

収入の部

（単位：円）

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,481,933	5,652,922	24,134,855	20,684,925	3,469,930	横浜市より
内 受領額	18,481,933	5,652,922	24,134,855	24,134,855	0	
内 戻入額				△ 3,469,930	△ 3,469,930	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
内 印刷代			0		0	
内 自動販売機手数料			0		0	
内 その他			0		0	
その他	3,298,285		3,298,285	3,298,285	0	
収入合計	21,780,218	5,652,922	27,433,140	23,963,210	3,469,930	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,140,047	0	12,140,047	10,878,546	1,261,501	法人本部経費が含まない
内 本俸	10,620,047		10,620,047	9,578,679	1,041,368	
内 社会保険料	980,000		980,000	889,417	90,583	
内 手当計	300,000		300,000	169,676	130,324	
内 健康診断費	80,000		80,000	70,253	9,747	
内 勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
内 退職給付引当金繰入額	150,000		150,000	160,313	△ 10,313	
内 その他	10,000		10,000	10,208	△ 208	
事務費	3,080,500	259,000	3,319,500	560,772	2,758,728	法人本部経費が含まない
内 旅費	30,000		30,000	0	30,000	
内 消耗品費	800,000		800,000	174,187	625,813	
内 会議開い費	15,000		15,000	2,821	12,179	
内 印刷製本費	280,000		280,000	97,364	182,636	
内 通信費	500,000		500,000	214,902	285,098	
内 使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
内 内 自販機目的外使用料（横浜市への支			0		0	
内 戻 入 その他			0		0	
内 備品購入費	530,000		530,000		530,000	
内 図書購入費	50,000		50,000		50,000	
内 施設賠償責任保険	50,000		50,000	25,712	24,288	
内 職員等研修費	50,000		50,000	0	50,000	
内 振込手数料	70,000		70,000	24,636	45,364	
内 リース料	0		0		0	
内 手数料	50,000		50,000		50,000	
内 地域協力費	0		0		0	
内 公租公課	0	0	0	0	0	
内 事業所税			0		0	
内 消費税			0		0	
内 印紙税			0		0	
内 その他			0		0	
その他	635,500	259,000	894,500	21,150	873,350	法人本部経費が含まない
事業費	1,206,000	0	1,206,000	59,168	1,146,832	法人本部経費が含まない
内 自主企画事業費（指定管理料充当の自主企画事業）	1,206,000		1,206,000	59,168	1,146,832	
内 その他			0		0	
管理費	4,899,671	0	4,899,671	3,249,514	1,650,157	法人本部経費が含まない
内 光熱水費	3,379,671		3,379,671	2,274,299	1,105,372	
内 清掃費	400,000		400,000	370,069	29,931	
内 機械警備費	120,000		120,000	89,214	30,786	
内 設備保全費	1,000,000	0	1,000,000	486,689	513,311	
内 空調衛生設備保守	250,000		250,000	214,610	35,390	
内 消防設備保守	100,000		100,000	51,151	48,849	
内 電気設備保守	100,000		100,000	25,234	74,766	
内 害虫駆除清掃保守	50,000		50,000	12,405	37,595	
内 駐車場設備保全費	0		0		0	
内 その他保全費	500,000		500,000	183,289	316,711	
内 共益費	0		0		0	
内 その他	0		0	29,243	△ 29,243	
修繕費	474,000	2,982,062	3,456,062	474,000	2,982,062	予算：指定額
太陽光パネル保守点検			0		0	
太陽光パネル修繕（追加）			0		0	
その他	0	0	0	0	0	
内 戻 入			0		0	
支出合計	21,780,218	3,241,062	25,021,280	15,222,000	9,799,280	
差引	0	2,411,880	2,411,860	8,741,210	△ 6,329,350	

自主企画事業費 収入	0	0	0	0	0
自主企画事業費 支出	1,206,000	0	1,206,000	59,168	1,146,832
自主企画事業費 収支	△ 1,206,000	0	△ 1,206,000	△ 59,168	△ 1,146,832

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

**令和7年度「横浜市神之木地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞**

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	36,862,267	0	36,862,267	32,166,530	4,695,737	横浜市より
内 受領額	36,862,267		36,862,267	36,862,267	0	
内 戻入額				△ 4,695,737	△ 4,695,737	
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	100,000		100,000	100,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	6,176,003	0	6,176,003	3,973,986	2,202,017	横浜市より
内 受領額	6,176,003		6,176,003	6,176,003	0	
内 戻入額				△ 2,202,017	△ 2,202,017	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）【包括】			0		0	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）【介護予防】			0		0	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）【生活支援】			0		0	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）【チームオレンジ】			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
内 印刷代			0	0	0	
内 自動販売機手数料			0	0	0	
内 その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
収入合計	43,292,270	0	43,292,270	36,394,516	6,897,754	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	33,843,267	0	33,843,267	31,046,404	2,796,863	法人本部経費が含まない
内 本俸	26,768,267		26,768,267	26,514,252	254,015	
内 社会保険料	5,500,000		5,500,000	2,948,489	2,551,511	
内 手当計	1,000,000		1,000,000	1,034,115	△ 34,115	
内 健康診断費	65,000		65,000	47,002	17,998	
内 勤労者福祉共済掛金			0	0	0	
内 退職給付引当金繰入額	500,000		500,000	480,938	19,062	
内 その他	10,000		10,000	21,608	△ 11,608	
事務費	1,054,000	0	1,054,000	1,180,320	△ 126,320	法人本部経費が含まない
内 旅費	30,000		30,000	15,076	14,924	
内 消耗品費	250,000		250,000	341,061	△ 91,061	
内 会議諸い費	10,000		10,000	12,644	△ 2,644	
内 印刷製本費	120,000		120,000	200,546	△ 80,546	
内 通信費	200,000		200,000	420,493	△ 220,493	
内 使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
内 その他			0	0	0	
内 備品購入費	140,000		140,000	0	140,000	
内 図書購入費	20,000		20,000	1,650	18,350	
内 施設賠償責任保険	50,000		50,000	51,425	△ 1,425	
内 職員等研修費	50,000		50,000	44,649	5,351	
内 振込手数料	50,000		50,000	49,272	728	
内 リース料	0		0	0	0	
内 手数料	50,000		50,000	1,204	48,796	
内 地域協力費			0	0	0	
内 公租公課	0	0	0	0	0	
内 事業所税			0	0	0	
内 消費税			0	0	0	
内 印紙税			0	0	0	
内 その他			0	0	0	
内 その他	84,000		84,000	42,300	41,700	
事業費	1,234,000	0	1,234,000	698,089	535,911	法人本部経費が含まない
内 協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算：指定額
内 自主企画事業費（指定管理料充当の自主企画事業）【包括】	270,000		270,000	8,191	261,809	
内 自主企画事業費（指定管理料充当の自主企画事業）【介護予防】	154,000		154,000	113,238	40,762	
内 自主企画事業費（指定管理料充当の自主企画事業）【生活支援】	100,000		100,000	72,660	27,340	
内 自主企画事業費（指定管理料充当の自主企画事業）【チームオレンジ】	80,000		80,000	0	80,000	
内 その他			0	0	0	
管理費	1,131,000	0	1,131,000	868,159	264,841	法人本部経費が含まない
内 光熱水費	754,000		754,000	604,587	149,413	
内 清掃費	100,000		100,000	98,372	1,628	
内 機械警備費	40,000		40,000	23,715	16,285	
内 設備保全費	237,000	0	237,000	139,485	97,515	
内 空調衛生設備保守	80,000		80,000	23,715	56,285	
内 消防設備保守	20,000		20,000	57,048	△ 37,048	
内 電気設備保守	20,000		20,000	6,706	13,294	
内 害虫駆除清掃保守	10,000		10,000	3,297	6,703	
内 駐車場設備保全費	107,000		107,000	0	107,000	
内 その他保全費	0		0	48,719	△ 48,719	
内 共益費			0	0	0	
内 その他			0	0	0	
修繕費	126,000		126,000	7,773	118,227	予算：指定額
その他	0	0	0	0	0	法人本部経費が含まない
内 印刷			0	0	0	
支出合計	37,388,267	0	37,388,267	33,798,745	3,589,522	
差引	5,904,003	0	5,904,003	2,595,771	3,308,232	

自主企画事業費 収入	0	0	0	0	0
自主企画事業費 支出	604,000	0	604,000	194,089	409,911
自主企画事業 収支	△ 604,000	0	△ 604,000	△ 194,089	△ 409,911

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度 横浜市神之木地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

令和7年年4月1日～ 令和8年3月31日

(単位:千円)

施設名:神之木地域ケアプラザ

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	21,300	8,615	12,685			0	15,360	10,087	5,273			0	52,920	45,763	7,157
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	840	369	471
	事業・負担金収入			0			0			0			0	840	369	471
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	収入合計(A)	21,300	8,615	12,685	0	0	0	15,360	10,087	5,273	0	0	0	53,760	46,132	7,628
支出	人件費	6,190	6,125	65			0	14,730	12,578	2,152			0	36,530	31,419	5,111
	事務費	700	1,619	-919			0	695	835	-140			0	4,275	6,522	-2,247
	事業費	310	241	69			0	512	433	79			0	6,818	8,926	-2,108
	管理費	260	191	69			0			0			0	3,598	3,810	-212
	その他	12,600	1,243	11,357	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,288	294	1,994
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	12,600	1,243	11,357			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0	2,288	294	1,994
	支出合計(B)	20,060	9,419	10,641	0	0	0	15,937	13,846	2,091	0	0	0	53,509	50,971	2,538
収支 (A)－(B)		1,240	-804	2,044	0	0	0	-577	-3,759	3,182	0	0	0	251	-4,839	5,090

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和7年度神之木地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組計画	公正、中立性の確保について、適時、アンケートなどを実施して、その内容を振り返り、業務改善に努めます。又、常に選択肢がある情報提供を行うことにより、選択者がその時点での最善の選択が判断出来るように努めます。	個人情報保護に関しては、情報セキュリティ研修を実施し、職員への周知を行います。又、周知だけでなく、現在行っている個人情報保護の対応が適切かどうか検討を行います。事故防止に関しても、再発防止会議の実施を時間をあけることなく実施し、改善出来るようにします。未然に事故を防ぐ意味を含めてヒヤリハット時点での検討実施も徹底します。
実績	ケアマネジャー選定の依頼の際にも必ずハートページやご本人や家族の希望を聞いてから行いました。又、意見や苦情に対して、職員間で検討し改善できる部分は改善を行い、そのことを周知いたしました。	全職員対象に情報セキュリティ研修を実施しました。又、FAXの際の誤送信防止にチェック項目を視覚的に確認出来るようにしました。又、事故が発生した際には再発防止会議を実施して、原因究明や改善策を検討しました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	要介護状態になることを防ぎ、健やかな日常生活が送れるように支援していきます。	地域で安心した生活が出来るように適切なサービス提供とサービス計画を提案します。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	所長 1名 主任ケアマネジャー 2名(内非常勤1名) 社会福祉士 2名	所長 1名 専従主任介護支援専門員 1名 専従非常勤介護支援専門員 1名
契約者数	325名	要支援 5名 介護 69名

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標			機能訓練の実施や運動レクリエーションを行うことにより、日常生活の維持。 居宅介護支援事業所との日々の情報共有を行うことにより関係性の強める。
実施体制	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 週6日(月～土) 【提供時間】 9:00～16:05 【定員】 18名(第一号と併せて)
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額 【その他料金】 昼食代735円
職員体制			所長 1名 相談員 2名(兼務) 看護師および機能訓練指導員 3名 介護職員 11名
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 3673名 【契約者数】 53名

令和7年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業					■ 事業の性質					■ 主な対象者、従たる対象者				
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業				1：優先的に取り組みが求められる事業					1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児		
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）			2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業					4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者		
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）									7：その他				

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
1	絵本読み聞かせ (地域活動交流)	平成16年度	1:地域活動 交流事業	1:優先的に 取り組み	絵本を通じて子どもの感情や情緒を豊かに育むことを目的として活動。活動の主体(読み手)はボランティア。ボランティアにとっても活動が生きがい・やりりとなる。乳幼児や保護者と先輩ママ世代や高齢世代のボランティアとの世代間交流の場ともなっている。	3:養育者及び乳幼児	5	絵本の読み聞かせ(手遊び、紙芝居、パネルシアター他)、ポスター作製を行う。開催時にケアプラザの子育て支援事業の情報提供を行う。 ○読み聞かせの会(6回)、ボランティア交流の会(6回)	12	0	164	0
2	脳トレ倶楽部 (地域活動交流)	平成21年度	1:地域活動 交流事業	1:優先的に 取り組み	脳を使うことによって認知症予防を目的とする。参加者同士が一緒に頑張る仲間として活動。介護予防を意識して生活ができるようにも支援する	1:高齢者		テキストを用いて、計算・音読・漢字・色読み等を行う。テキストの印刷・会場準備・片付け等を参加者で行っている。自主化できるかを検討している。	20	0	187	0
3	みんなdeこそだてワイワイパーク (地域活動交流)	令和6年度	1:地域活動 交流事業	1:優先的に 取り組み	保育園と連携し地域の子育て支援を行う。	3:養育者及び乳幼児		食育、親子遊びなど 年1〜2回予定 ○5月 離乳食のおはなし	1	0	15	0
4	おやこふりーすベース (地域活動交流)	平成19年度	1:地域活動 交流事業	1:優先的に 取り組み	地区センタープレイルームのような感覚で、多目的ホールを開発。ふらっと親子で遊びに来ることのできるスペースとして提供。情報交換の場とした目的もある。	3:養育者及び乳幼児	5	地区センター休館日の第4月曜日、午前中に多目的ホールを開放。 ○毎月1開催	10	0	36	0
5	神経難病ふれあい交流会 (地域活動交流)	平成13年度	1:地域活動 交流事業	1:優先的に 取り組み	病気の性質から、地域で孤立・自宅へ引きこもりがちな患者と家族が集まることのできる場所を確保し、参加者同士の仲間作りや社会参加の支援。、それぞれが抱えている悩みを共有することで、偏見に対する不安感や絶望感の軽減を図ることを目的としている。	2:障害児・者	1. 5	神経難病(パーキンソン病・脊髄小脳変性症・多系統萎縮症など)の患者と介護者のための交流会。区役所・ケアプラザ、地域のボランティアが参加。講師を招いての体操・音楽・講演会を行っている。年6回開催 ○前半 5. 6. 7月 ○後半 10. 12. 2月	6	0	30	0
6	かみのきくらぶ (地域活動交流)	令和7年度	1:地域活動 交流事業	1:優先的に 取り組み	年代問わず、どなたでも参加できる。「作り物」などをしながら参加者同士が交流を図る場。	5:地域		作り物、その他楽しめる内容で計画 年2回程度 ○6月 はり絵、 ○7月 タオルでの作りもの	2	0	22	0
7	ダブルケアカフェ (地域活動交流)	平成28年度	4:共催(1と2)	1:優先的に 取り組み	社会で孤立しがちなダブルケアの方向士の交流の場を作り、情報交換を行う。子育て情報や介護情報を提供、一つの場で双方の情報が得られる空間とする。	3:養育者及び乳幼児	2. 4. 5	ダブルケアについての理解、ダブルケア当事者の話、参加者のフリースーク 年3回程度 ○5月、11月	2	0	9	0
8	地域活動交流出前講座 (地域活動交流)	令和7年度	1:地域活動 交流事業	1:優先的に 取り組み	既存の団体、地域の居場所等の支援。地域活動交流部門でできるレクや脳トレなどを提供し自分達(団体)だけでもできるように関わっていく。	5:地域		脳トレ、レクの実施・提案 年2〜3回 ○6月 カフェ本町ひまわり(喫茶ひまわり)で実施	1	0	14	0
9	地域を対象とした認知症サポーター養成講座	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に 取り組み	認知症サポーターの養成。地域にも多くの認知症の人やその人を介護する家族がいることを知ってもらい、温かく見守ることができると地域づくり、自分ができる範囲でのお手伝いができるようなサポーターの養成を目的とする。	5:地域	1	神之本エリアで活躍しているキャラバンメイトを講師に迎え、認知症の正しい理解と認知症高齢者本人とその家族を温かく見守るサポーターの養成講座。	2	0	21	0
10	認知症を理解する講座	平成30年度	4:共催(1と2)	1:優先的に 取り組み	認知症と認知症対応の知識を深め地域のニーズを共有することで高齢者を取り巻く環境を整える狙いがある。	5:地域	1	地域のシニアクラブや高齢者の集まりの場で認知症の方への対応の仕方や基礎知識等をお伝えした後にディスカッションや質疑応答で知識を深める。	0	0	0	0
11	はーとふるステーション番外編 チームオレンジ事業「オレンジランブ」上映	令和7年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に 取り組み	認知症の理解・啓発と地域に向けてケアプラザの周知を図る。	5:地域		9/21(日)「オレンジランブ」上映。地区センターとの共催とし、地区センター4階のレクホールで上映。幅広い年齢層に向け認知症の理解・啓発を図る。	3	0	139	0
12	はーとふるステーション	平成30年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させる ねらい	認知症の理解と啓発	1:高齢者		認知症の理解と共存。当事者と家族のよりどころ、ケアプラザの周知とボランティア育成。	11	0	219	0
13	内科医による認知症相談会	平成26年度	2:地域包括 支援センター運営事業	1:優先的に 取り組み	医師の立場からのアドバイスをもらうことで、認知症の方やその家族の方が、認知症に対する理解を深め、今後の在宅生活を安心して送っていただけるようにする。地域のニーズをふまえた協力医に在る講座等の企画・振り返りも含む。	1:高齢者	5	主に第2木曜日の13:30〜14:30で申し込み制(一人30分)	11	0	7	0
14	介護者のつどい	平成22年度	2:地域包括 支援センター運営事業	1:優先的に 取り組み	介護者が互いに交流できる場、リラックスできる場、介護に関する講座を提供し、介護者の支援を行う。	1:高齢者		座談会とミニ講座を交互に隔月第三木曜日の13:30〜15:00で実施。 ○5月 葛じまいに関する講座	6	0	38	0
15	司法書士・行政書士無料相談会	平成24年度	2:地域包括 支援センター運営事業	1:優先的に 取り組み	高齢者の権利保護のため、法室に関する相談を身近なケアプラザで気軽に相談できる機会を確保する。	1:高齢者	5	成年後見・相続・遺言を中心に法律全般の無料相談会開催。	2	0	8	0
16	かなプチ子育て応援タイム (地域活動交流)	令和5年度	1:地域活動 交流事業	1:優先的に 取り組み	地域の子育て世代の支援、子ども支援地域の子育て支援に関する施設同士の施設間連携。	4:子ども・青少年		地域の中で親子が楽しめる内容を提供 ○7月 もしもの時の幼児救急法 ○10月 吹奏楽 ○1月 ストレッチ	3	0	141	0
17	居場所交流会	令和4年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に 取り組み	地域の居場所との情報交換・交流・状況把握。	5:地域		参加者との交流・情報交換 横浜市チームオレンジ事業の理解と共有。	2	0	26	0
18	貸館に関する説明会 (地域活動交流)	令和7年度	1:地域活動 交流事業	1:優先的に 取り組み	貸館団体への利用に関する説明等	5:地域		法人変更に関する説明 貸館に関すること 団体の活動紹介 他 3月に開催	1	0	15	0